

研究開発課題事後評価結果

事業名（年度）	次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業 （平成28年度～令和2年度）
研究開発課題名	糖鎖利用による革新的創薬技術開発事業
分担研究開発課題名	糖鎖構造の可変を可能にする糖タンパク質の精密半化学合成とその品質分析技術の開発
代表機関名	国立大学法人大阪大学
研究開発代表者名	梶原 康宏

【評価結果】

大変優れている／計画した成果を多少上回る成果が得られた

【評価コメント】

合成糖鎖を利用した均質な糖鎖構造を持つ糖タンパク質の高効率な新規合成法を確立した点は高く評価できる。これにより、受容体のリガンドである糖タンパク質が持つ糖鎖の新規機能を提唱した。今後は高品質な糖タンパク質の製造基盤となることが期待される。また、糖鎖の水和殻という新しい概念が提唱された。水と殻の概念を利用した相互作用のさらなる解析に取り組んでいただきたい。

得られた研究成果は世界的に最先端の技術であるため、成果発表や知財の確保にさらに積極的に努めていただきたい。また、既存の糖タンパク質だけでなく、新しくデザインされた糖タンパク質の創成に取り組むことにより、糖タンパク質の新規合成法技術の実装化が期待される。

以上